第15回原子力損害賠償・廃炉等支援機構
燃料デブリ取り出し工法評価小委員会　議事要旨

日時：令和７年４月21日（月）18:00～20:00
場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構　大会議室

　東京電力から３号機燃料デブリ取り出しのシナリオ及び燃料デブリ取り出しに向けた環境整備の実施内容について、説明。
　委員からの主な意見等は以下のとおり。

燃料デブリ取り出しのシナリオについて

- 充填材を使うかどうか判断する時期や基準を示してほしい。
- PCV内（水中）の調査は、具体的にどのように進めていく考えなのか。
- 最初から最後まで上アクセスが小開口というシナリオは柔軟性に欠けるのではないか。
- 以前示されたシナリオと比べて現実的な形になってきたと思うが、これはエンジニアリングが進んだ成果によるものか。

燃料デブリ取り出しに向けた環境整備の実施内容について

- 線量低減のための設備撤去や除染を行うにあたり、線源がどこにあるか把握できているのか。
- 周辺建屋の撤去や構台設置に要する時間はどの程度かかると見積もっているのか。
- 課題はあるが、構台設置に周辺建屋の解体が不要であれば、デブリ取り出しを早く進めることができる。技術的な可能性について検討を進めてほしい。
- 建屋解体等で発生する廃棄物がボトルネックとなり、作業を進めることが難しくなることはないか。環境整備で発生する廃棄物量を見積もっているのか。
- 難しいかもしれないが、取り出しシナリオ含めて、タイムスケールを定量的に示してほしい。

（以上）